

定例記者会見（平成21年4月期）発表事項

1. 新年度のスタートに当たって（はじめに）

平成21年度は、市制施行50周年・合併5周年そして新庁舎への移転等が重なり合う節目の年度となり、何かと動きのある年回りであります。

国の緊急経済対策に呼応する動きもその一つであります。それを裏付けるように、早速、本日3日から定額給付金の申請受付を全庁態勢のもと開始したところであります。

地域雇用の確保及び地域経済の下支えは、当面の喫緊の課題として、効果を引き出すよう、その取組みに最善を尽くす考えでありますし、産業の基盤づくりや雇用の場の創出といった本来的課題にもじっくりと腰を据えて積極果敢に取り組んでいく考えであります。

また、まちづくりの主役は市民であるとの基本理念のもとに市民協働の社会の形成を目指して、広報広聴機能の充実、進化に引き続き努めてまいります。

本年度は、財政健全化を進める基本軸を堅持し、その手綱を緩めることなく、「守り」に出来る限りの努力を傾ける一方で、更なる飛躍に向け、「攻め」にも舵を切って、事に当たってはよく考え（熟考と創意工夫）、行動し（アクションを起こして仕掛けを実践に移し）、成果（創造も含めて）に結びつけていくことを基本テーマに、行政運営を推し進めていく考えであります。

以上のようなテーマに、組織施策として、分庁舎の組織改革や産業政策課の新設、さらには、試行的導入ではありますが、「グループ制」をもって立ち向かっていくこととなりますが、「グループ制」については運用を誤れば、両刃の剣ともなり、リスクなしとは、しません。

したがって、予算に吹き込んだ精神を具現化するために、事務事業の進行管理をしっかりとやっていくことと併せて、組織管理についても、特に、市民サービスの維持向上といった観点から注意深く検証を加えながら進めてまいりたい。

これらを序章として、平成22年度に向けて部の再編を含む組織改革に歩を進め、基礎自治体としての体制、即ち、自主的かつ自立的で効率的な行政経営の実現と、躍動感溢れる組織体を目指してまいります。

年度の架け橋ともなる、退職者への辞令交付、送別、そして、新年度人事異動に伴う職員への辞令交付という、この間の一連の厳粛な儀式を終えた今、私は、節目の年度に立ち向かおうとする新たな闘志に胸が高鳴っております。

むつ市政に対しまして、引き続きご協力・ご支援を願うものであります。

2. 定額給付金給付に合わせた「プレミアム付商品券」発行助成について

むつ市は、この「プレミアム付商品券」を活用した景気浮揚をさらに後押しをするため、事業者である商工会議所・各商工会に対し、総事業費の8割を緊急助成することとした。

プレミアム付商品券発行総額 1億3,500万円

助成額 1,350万円

（内 訳）

	< 商品券発行額 >	< プレミア分 >
むつ商工会議所	1億円	1,000万円
むつ市川内町商工会	1,500万円	150万円
大畑町商工会	2,000万円	200万円

一人当たりの販売限度額 3万円(通常時5万円)
 今回は、多くの市民にプレミア分が流通するよう配慮する。

販売開始日 4月27日(月)を予定

3. 下北観光リニューアルサイト「ぐるりんしもきた」の公開について

公開予定日 4月20日(月)

(特 色)

市のホームページ同様、CMS(コンテンツ・マネージメント・システム)を活用し、構成市町村担当職員がそれぞれの庁舎での編集・更新ができ、よりホットな情報提供が可能となった。

トップページのメイン画像に構成市町村の観光素材を用い、一定時間で切り替わる工夫を凝らした。

「遊ぶ」、「楽しむ」、「魅る」、「味わう」の旅の目的別にまとめ、下北の観光スポットをワンクリックでの検索を可能とした。

オンライン地図検索サービス()を活用し、地名・施設の検索をよりわかりやすくした。

下北観光ガイド「ぐるりんしもきた」とのイメージの統合・整合性を図り、紙面とサイトとの両面から効果的な下北観光情報発信の形とした。

URL: <http://www.shimokita-kanko.com>

4. 窓口サービス専門員の配置について

4月1日から、市民課にお越しのお客様の待合時間をいくらかでも少なく、また、混雑を緩和するために、お客様への対応を主たる業務とする「窓口サービス専門員」7名を配置した。

配置場所 本庁舎市民課

配置数 7名(女性7名)

身 分 非常勤特別職

業務内容

- ・各種証明書の交付申請受付、交付事務
- ・住民の記録(戸籍・住民票)に関する事務
- ・その他課長が必要と認める事務

(発表事項に対する質疑)

(問) 冒頭のあいさつにあった平成 2 2 年度組織再編の具体的な内容は？

(答) 大きな柱として、対峙関係にある企画課と財政課が、現行では企画部に包括されるが、これを企画・総務部門を統合した政策部、財政・税務部門などを統合した財務部とに再編する予定

(問) プレミア商品券の総事業費とはいくらなのか？

(答) プレミア分 1,350 万円と印刷費等事務費 3,375 千円を含めた 16,875 千円が総事業費となる。

以 上